

提 案 書 要 約

1 事業名 「脱炭素、脱焼却を目指す脱プラ（プラの削減と素材転換）に関する資源循環の実証事業」
～都内ホテル等における水飲料プラスチックボトルからブリックパックへの素材転換に係る取組～

2 応募者名 株式会社トベ商事

3 内 容

(1) 本事業の目的と背景

・目的

本事業は、地球環境に配慮した社会への一歩として、燃烧されている事業系紙ごみを再資源化されている仕組みが確立していることから、事業系水飲料プラスチックボトルを削減するため水飲料ブリックパックへ素材転換することにより、大幅なプラスチック削減と回収したブリックパック等再生原料となる紙類の資源循環につながり、サーキュラーエコノミー実現に向けた社会実装が推進される。

・実証事業の背景

東京都は、プラスチックや食品ロス等の持続可能な利用に向けて、使い捨てプラスチックや食品ロスを削減するビジネスモデルや水平リサイクル等高度な再資源化技術の実装化を目指して、様々な実証実験を行ってきた。また、EU等海外に目を向けると、2050年ゼロカーボンに向けて、サーキュラーエコノミーパッケージ等各種施策が積極的に展開されている。その中で、ホテル等の飲料ボトルは、プラスチックボトルからブリックパックボトルへ素材の転換が進められ脱プラが進みつつある。本事業では、我が国においても、脱炭素、脱焼却・脱プラ等に大きく寄与するこれらプラスチック素材から紙素材へ転換することに加え、現在、可燃ごみとして焼却されている紙コップやその他紙類の回収についても併せて再資源化するものである。

(3) 本事業で期待される効果

①宿泊者（消費者）が、脱炭素・脱焼却・脱プラへの経験・体験等が出来る。

②2050カーボンゼロに向けて、物を焼却から再資源化に変更していくことで、大幅なごみの減量化が図れるとともに、CO₂削減に大きく寄与する。

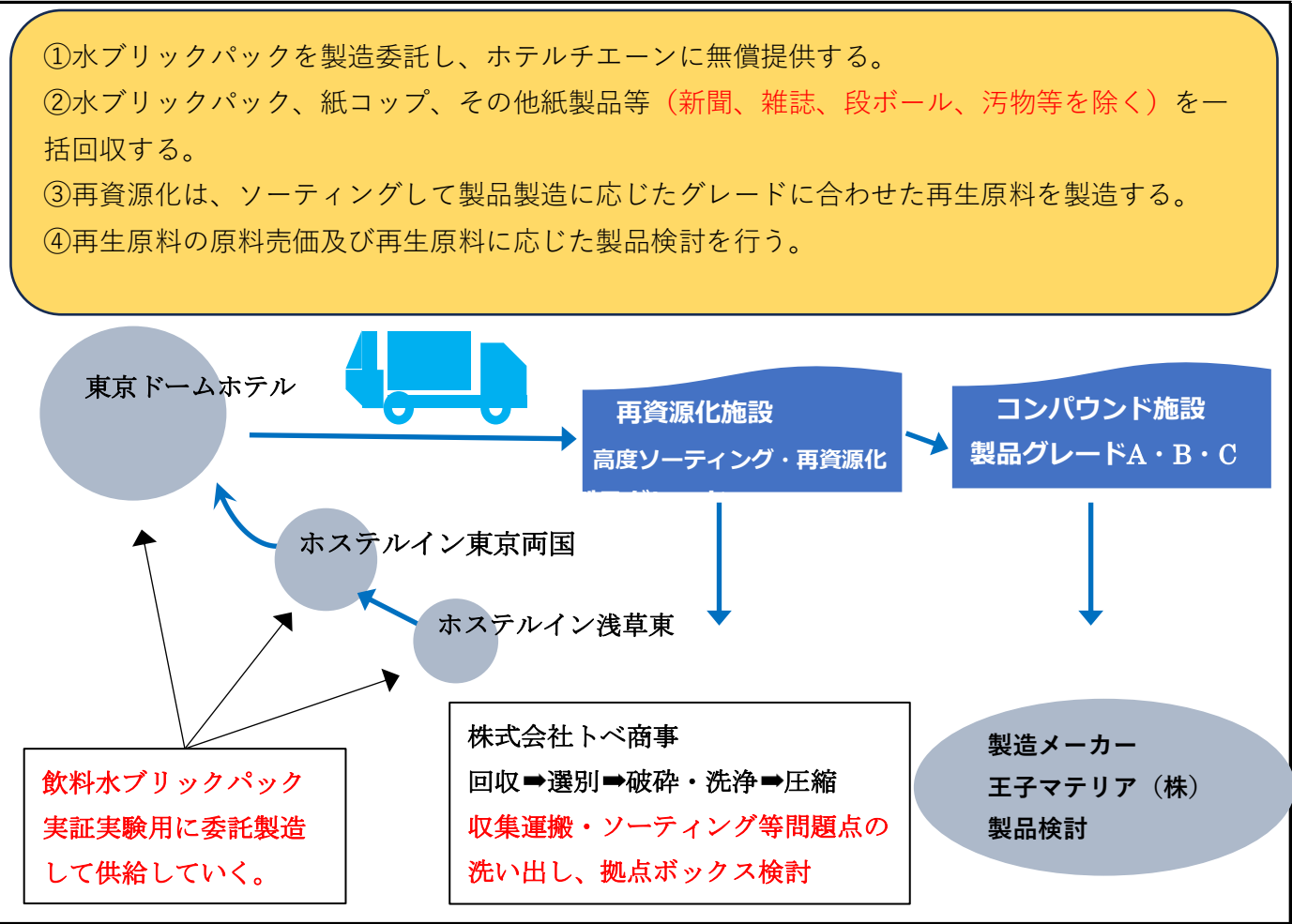
③プラスチックから他素材への転換は、プラスチックの大幅な削減が実現できる。

④実証実験の大きな効果の一つに、ホテルの宿泊者、ホテルチェーン及び関連企業の皆様に、「サーキュラーエコノミー」を考えていただく切っ掛けとなる。

⑤ホテルチェーンのCSR向上と全国展開の切っ掛けづくりとなる。

⑥プラスチックの散乱ごみの海洋流出の抑制に加え、資源循環の促進が大きく前進する。

(2) モデル実験の内容（EU方式の標準化）



(4) 実施体制と各社役割

企業名	企業概要	役割
（株）トベ商事	廃棄物・リサイクル企業	企画・運営、回収・再生原料製造
東京ドームホテル・ホステルイン東京両国・ホステルイン浅草東	旅館業	客室に水飲料製品配布
王子マテリア（株）	紙製品製造企業	製品製造検討
（株）エコマ	コンサルタント	会議開催・報告書作成

(5) 本事業の実施スケジュール

	10月上中下	11月上中下	12月上中下	1月上中下	2月上中下	備考
水ブリックパック製造	→					発注
ホテルに配布		→				依頼
回収・輸送・再資源化		→	→			課題抽出
再生原料売価・製品検討				→		分析
環境負荷削減効果・報告書作成					→	分析・報告書